

高齢化社会に対応した眼科装置を開発 マイクロトモグラフィ株式会社

開発の経緯

- 網膜は眼底写真で見ると平面に見えますが、実は10層に分かれています。
- 本事業により、患者の眼球に、レーザー光とは異なる目にやさしい光を照射し、眼球から帰ってくる光を検出して断層情報を得、コンピュータ処理により、断層画像を表示し、眼底の断層診断を行う装置を開発しました。

製品の特長

<製品名:EG-SCANNER(眼底検査装置)>

- 網膜黄斑部の剥離や浮腫等による形態学的変化を非接触、非侵襲で定量的に観察、診断することができます。
- 従来の眼底検査に比べて眼底の形態変化が詳しくわかります。
- 人体や生体に悪影響を及ぼすことなく検査や診断を行えます。



導入事例

- 平成15年に医療器具として厚生労働省から認可され、平成16年5月から販売を開始。山形大医学部附属病院、富山大学医学部、山形県立新庄病院などに導入されています。
- 人口の高齢化に伴い、加齢黄斑変性などの眼疾患が増加しているが、こうした疾患の診断に威力を発揮すると期待しています。
- 「眼底だけでなく、眼科を中心とした生体の計測にもOCTが応用できないか」考えており、さらなる技術開発に努めています。

会社情報

企業名:マイクロトモグラフィ株式会社

(事業はエムテックスマツムラ株式会社にて実施。その後社内ベンチャーとして独立)

住所:山形県天童市北久野本一丁目7番43号

電話:023-654-9081(代表)

資本金:5,000万円

事業概要:医療機器・計測機器の製造販売

代表者:松村澄男

URL:<http://www.microtomography.co.jp/>

設立:平成14年7月1日

従業員数:12名

SBIR補助金等概要

SBIR補助金等名:地域新規産業創造技術開発支援制度に係る補助金(平成13年度補正)

交付機関:経済産業省 <http://www.meti.go.jp/>

採択テーマ:小型光干渉断層眼底診断装置の開発